ひまわり

桶川市青少年健全育成市民会議

第　47　号
令和6年2月1日（年1回発行）
発　行　桶川市青少年健全育成市民会議
編　集　青少年健全育成市民会議
　　広報発行委員会
事務局　桶川市教育委員会生涯学習・スポーツ推進課
☎788-4970
✉shogai @ city.okegawa.lg.jp

令和5年度「家庭の日」ポスターコンクールで優秀賞を受賞された皆さんの作品です。おめでとうございます。（敬称略）

「きれいだったなふじの花」
川田谷小学校 3年　岩﨑　結

「地いきのおまつりに家族でさんかしたよ」
～わたしはおはやしでたいこをたたいたよ～
桶川小学校 3年　岸　姫花

「ダジャレを言って大わらい」
日出谷小学校 1年　佐久間　悠

「ぼくの大切な家族～新しい命の誕生～」
日出谷小学校 6年　加藤　隼人

「幸せになれるまほうの言葉」
日出谷小学校 5年　佐久間　香里

「きれいになるとうれしいね」
桶川東小学校 5年　髙瀬　茉莉

「たくさん遊んだ帰り道」
桶川西中学校 2年　佐藤　杏咲

「家族揃って全力応援!!」
桶川中学校 2年　二瓶　華音

「世界の平和は家庭から」
桶川中学校 2年　河合　杏莉

市民大会が行われました

幸せに生きる心の育み方

オフィス・イマココ
代表
西畑　良俊 氏

西畑さんは、埼玉県春日部市の出身で、埼玉県立浦和高等学校を卒業し早稲田大学法学部に進み、箱根駅伝を目指したそうです。1年の時には出雲駅伝に出場するも、結局夢かなわずに卒業。大学時代は、勝たなくてはいけないという勝手な思い込みが自分自身を追い込み、周り全員を敵と感じ、ノイローゼになったそうです。20代はうつ病に苦しみ、眠れない日々を過ごしたとか。転機が訪れたのは、新潟・粟島での島おこしに参加したとき。思い返せば、「Why？」から「How？」へと思考を転換できたことが、今に至るきっかけになっているように思います、とおっしゃっています。その実体験から、今ではメンタルコーチ、埼玉県家庭教育指導員など様々な分野で活躍されています。

「皆さん今幸せですか？」との質問から講演がスタート。過去のアメリカでの調査で、「幸せです」と答えた方を10年後に追跡調査し、同じ質問をしたら90％の方が「幸せです」と答えたそうです。中には明らかに10年前よりも幸せではなくなっていると思われる方でも幸せだと答え、反対に「幸せではない」と答えた方の10年後の追跡調査の結果では、90％の方は再び「幸せではない」と答えたそうです。「しあわせはいつも自分のこころがきめる（あいだみつお）」は結論であり名言だと思います。まずは、自分を認めてあげて「自己肯定感」の6項目を実践して下さいとのこと。

①自尊感情（自尊心）　「自分はかけがえのない存在だ」と思えること
②自己受容感　「自分は自分であって大丈夫」と思えること
③自己効力感　「自分にはできる」と思えること
④自己信頼感　「自分は大丈夫」と信じられること
⑤自己決定感　「自分で決定できる」ということ
⑥自己有用感　「自分は役に立っている」と思えること

このように思い、考える事で、気持ちが変わっていくそうです。

講演の途中で、ワークをしました。2～3人で組になり、各々1分間で①自分の現在の元気度を10点満点で評価し、なぜその点数なのかを説明し合います。②相手の話で感じたことを発表し合います。③今までの話で感じたことを発表し合います。その後で、話を聞くポイントを教えてもらいました。

①話を聞くスイッチを入れる。②この人は素晴らしい人だと信じる。③暖かな眼差しでアイコンタクトをする。④表情を観察して相手の表情に合わせる。⑤声のトーン、テンポも相手に合わせる。最後にコミュニケーションはダンスである。楽しむ心を大切にし、相手との違いを楽しむ心（の余裕）を持つよう心がけて下さい。

人は忘れる生き物です。1時間で56％は忘れてしまいます。その日のうちに復習し、翌日、3日後、1週間後、1か月後にそれぞれ復習をすることで忘却率が5％になると言われています。今日の講演内容を忘れないように、間隔をあけて復習してみてはいかがでしょうか。　（岩田）

第36回 桶川市青少年健全育成市民大会

11月5日（日）、桶川市東公民館大ホールにおいて、第36回桶川市青少年健全育成市民大会が開催され、開会行事に続き、講演会及び表彰式を実施しました。

講演会では、オフィス・イマココ代表でメンタルコーチ、研修講師の西畑良俊氏による講演、「幸せに生きる心の育み方」が行われました。

その後、「青少年育成功労賞」の表彰が行われ、さらに市内小・中学生が取り組んだ「私たちの主張」作文コンクール及び「家庭の日」ポスターコンクールの表彰と作文コンクール受賞者による作品の朗読が行われました。　（土館）

非行防止街頭キャンペーン

７月７日（金）、午後６時より帰宅途中の方やお買い物に来られた方などが行きかう桶川駅周辺で、多くの構成団体が集まり、リーフレットなどの配布とともに非行防止を呼びかける非行防止街頭キャンペーンが行われました。（西）

市民まつり非行防止キャンペーン

１１月３日（金）、汗ばむほどの晴天の中、市民まつりが開催されました。桶川小学校・中山道において巡回指導員及び関係者の方々が、風船や啓発物品を配布し広く非行防止へのご協力を呼びかけました。（西）

おけがわ春のふれあいフェスタ２０２３

５月１４日（日）おけがわ春のふれあいフェスタ２０２３が開催されました。

開会式では、子ども・子育て支援功労者、桶川市社会福祉協議会への寄付者にそれぞれ感謝状が贈呈されました。市民ホールでは相撲甚句と合唱。野外ステージでは、大型絵本の朗読や大型紙芝居、補助犬のデモンストレーションが催されました。

５月８日にコロナが５類に分類されたことで、大勢のお客様が来場され会場は溢れんばかりの大盛況でした。（澁谷）

（ちーかま）

巡回指導員委嘱式及び研修会

６月８日（火）、市内小・中学校のＰＴＡから選出された３０名の巡回指導員の方々に、委嘱式及び研修会を行いました。巡回指導員は、月２回の街頭や娯楽施設でのパトロール、年２回の非行防止キャンペーン等に参加し、青少年の健全育成のために活動していただいてます。

研修会では、今年度も日本ガーディアン・エンジェルスの小田啓二理事長、大和田尚子理事をお招きし「Dere to Care～あえて気にかける『アフター・コロナ』のパトロール」と題し、パトロール中のエチケット・相手と接する時の留意点などをお話いただきました。

また、７月１５・１６日に、４年ぶりとなった桶川祇園祭では、日本ガーディアン・エンジェルスの方々と巡回パトロールを行いました。（小髙）

青少年健全育成市民会議総会

５月２１日（日）、桶川市役所において、令和５年度桶川市青少年健全育成市民会議総会が開催されました。

総会に先立ち、「子育て～プラス思考の支援～」と題して、埼玉県家庭教育アドバイザーの美田かおるさんに講演していただきました。

特に印象に残ったことは「リフレーミング」についてです。リフレーミングとは、物事を見る見方を変えるという意味です。子育てにおいては、その子の短所をリフレーミングして長所に変えることで、親も子も気持ちよく過ごすことができるかもしれません。

プラス思考で気持ちを切り替えることの大切さを学びました。（西永）

令和５年度 桶川市青少年健全育成市民会議表彰者

11月5日に行われた表彰式では、青少年の育成に顕著な功績のあった個人11名が「青少年育成功労賞」を受賞されました。

また、市内小・中学校の児童と生徒が取り組んだ「私たちの主張」作文コンクールでは178点の応募があり、優秀賞及び優良賞各6点の表彰を行いました。

さらに、「家庭の日」ポスターコンクールでは429点の応募があり、優秀賞及び優良賞各9点の表彰を行いました。表彰された皆様や作品を紹介します。

※ポスターコンクールは1・4・5ページに掲載

※各受賞者の写真は市民大会の際に撮影

（敬称略）

会長　澁谷　光章

青少年育成功労賞

桶川市人権擁護委員会
桶川地区更生保護女性会
桶川サッカースポーツ少年団
桶川ヤンキーススポーツ少年団
合気道桶川愛氣会
桶川ジュニアリーダーズクラブ
桶川市子ども会育成連絡協議会
桶川市ＰＴＡ連合会
桶川カーディナルス
スポーツ少年団
桶川西ＪＶＣ
桶川市柔道連盟

和久津吉彦
梅原とも子
関根　良和
安齋　豊
尾澤　透
髙橋　龍一
鈴木　美枝
野頭　國郎
狩野　将也
髙梨　隆博
阿部　靖代

青少年育成埼玉県民会議会長より表彰

今年度の埼玉県民会議表彰にて、桶川市青少年健全育成市民会議の構成団体である、桶川市子ども会育成連絡協議会の秋山節子氏が、「青少年育成功労賞（個人）」を受賞しました。

「家庭の日」ポスターコンクール入賞者

優良賞作品

「いただきます!!」
桶川東小学校 ４年　島村　幸歩

「赤ちゃんがうまれてうれしいな」
桶川西小学校 ３年　庄田　海斗

「きれいだね」
桶川東小学校 ４年　荘司　優羽

「家族でつくった大きな顔ピザ！」
桶川東小学校 ３年　髙瀬　和俊

「たのしいプール」
桶川西小学校 ２年　村上　虎徹

「私たちの主張」作文コンクール入賞者

優秀賞

農業家になりたい	川田谷小学校	4年	新井	夏帆
いいことハンターボックス	桶川西小学校	6年	関	つむぎ
心のこもったあいさつを	桶川東小学校	6年	小嶋	遼華
AIに負けない	加納中学校	1年	野澤	歩夏
誰もが生きやすい社会に	加納中学校	2年	笹代	佳蓮
左利きの苦労	桶川中学校	3年	原	悠莉

優良賞

ぼくのしょうらいのゆめは、運転士	桶川西小学校	4年	赤石	朔玖
わたしのしょう来のゆめ	日出谷小学校	4年	地引	春乃
性別違和について	日出谷小学校	6年	細井	唯名
地球に住んでいる人々へ	桶川中学校	1年	宮沢	りさ
世の中の平和について	桶川中学校	2年	内倉	達志
周りの人の存在のありがたさ	加納中学校	3年	檜垣	花

作文講評

小・中学生の皆さんの主張は、自分の将来、未来についての考えや夢、周りの人々への感謝の気持ち、誰もが生きやすい社会、などいろいろなテーマについて考えているものでした。身近な出来事に疑問をもつ豊かな感性をもっていること、体験し、見聞きしたことをきっかけに考えを深めていくこと、その思いを作文に表現できることは大変すばらしいことです。皆さんの未来を切り拓いていこうとする気持ちをこれからも大切にしてください。（杉山）

ポスター講評

今年は全国的な外出自粛がないため、家族で外出したり遠距離にお住まいの親戚に会いに行かれたりする様子を描いた作品が多く寄せられました。各作品には明るい色を多用しながら細かいところまで描いた家族の笑顔。この表情豊かな家族の姿から温かい雰囲気が伝わってきます。

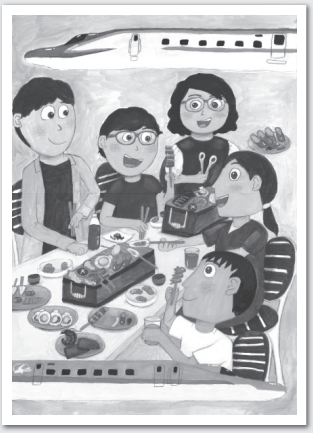
このポスター制作が家庭のあり方や意義を見つめ直し、家族の絆をより一層深める機会の一つとなれば幸いに存じます。（岡安）

埼玉県等主催「家庭の日」ポスターコンクールでテレ玉特別賞を受賞

埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議が主催する、今年度の「家庭の日」ポスターコンクールにおいて、桶川西中学校の佐藤杏咲さんの作品「昼寝現場目撃」が、テレ玉特別賞を受賞しました。

※写真は表彰式の際に撮影

ポスターコンクール



「新幹線でおじさんとおばさんにあいにいきました」
川田谷小学校 6年　黒田　朔矢

「ひまわり畑」
加納中学校 2年　大島　美優

「家族はどんな時でも私の応援団」
加納中学校 3年　武田　桃果

「家族でホタル鑑賞」
桶川中学校 1年　西山　優

2023 親子ふれあいウォーク

川田谷地区

10月7日（土）、川田谷地区の「親子ふれあいウォーク」が開催され、77名の参加者がウォーキングを楽しみました。

配られた地図とクイズシートを手に農業センターをスタートし、八幡神社、はにわの里、原山古墳群、桶川飛行学校平和祈念館、泉福寺、富士見ホタル親水公園のチェックポイント、クイズポイントを巡りながら8キロを歩き、また農業センターに戻ってきます。

出題のクイズは意外と難しく、由来の書いてある立て札をきちんと読まないとわからないところもあり、それぞれの場所を知ることができてとても勉強になりました。

桶川飛行学校平和祈念館では、オケちゃんが応援に来てくれていて、みんな嬉しそうに一緒に記念撮影をしました。

富士見ホタル親水公園では、射的があり、子どもたちが声をあげながら楽しそうにチャレンジしていました。

道中ちょっとしたハプニングや、風が強く帽子を飛ばされてしまったりなどいろいろありましたが、天気が良く、道端では子どもたちがドングリを拾ったり秋の田畑や自然を感じながら、和やかな雰囲気でとても楽しく歩くことができました。（黒田）

坂田加納地区

10月21日（土）、清々しい秋晴れのもと、坂田・加納地区の親子ふれあいウォークが開催されました。参加者総勢77名は、坂田コミュニティセンターをスタートとゴールに、べに花ふるさと館、氷川天満神社、後谷公園、わんぱく村をチェックポイントとし、ゴールを目指します。最初のポイントではオケちゃんとの写真撮影があり、ゴールの時に完歩証と一緒に受け取れます。途中にはトイレ休憩もあり安心。クイズポイントや、射的のイベントもあり、約7kmの道すじに華を添えました。開催にあたり当日は、青少年相談員やジュニアリーダーのお兄さんお姉さんにも、お手伝いいただきました。（対馬）

ひまわりのつぶやき

☀昨年4月に初めて手術入院を経験しました。術後の夜からは絶対安静状態で、お腹は点滴のパイプを含めて計3本の命のパイプが差し込まれていました。それを見つめて管理してくださったのが天使であるナースの皆様です。本当にありがとう！心の底から感謝です。（澁谷）

☀マスクを外しての生活に慣れ始めた所。久しぶりにマスクをつけて息苦しさを感じました。マスクを毎日していた時は感じなかったのに！習慣って凄い！子ども達にはマスク生活が早くなくなってくれるといいなと。（小高）

☀子育てが大変な時に「今が1番良い時ネ～」とよく言われたものだ。いやはや今となっては、それがよーくわかる。（西永）

☀少し前まで買い物もあんなに大変だったのに、お荷物だった子ども達は今では袋詰めも荷物持ちもする大事な戦力に。子どもの成長は本当に早いと実感。（土館）

☀仕事も在宅勤務から出勤に変わりマックスに！久しぶりに忙しい一年が戻ってきて、もう息切れしてます。ご迷惑をかけない様にもう一息と、頑張る毎日です。（岩田）

☀家族、それぞれチョコレートの厚い壁に立ち向かっている。でも大丈夫！みんなチョコレート大好きだから！自分のペースで全部たべちゃおう！（西）

☀昨年春に起こした車の横転事故の件が未だに終わっておらず、気を付けて走っていたつもりだったが、こちらが被害者とはいえ、十分それ以上に気を配ってハンドルを握らねばと思った。（黒田）

☀我が家でたまに開催するお菓子パーティー。買い込んだお菓子を皆でワイワイお喋りしながら頬張る、家族だんらんタイム。君たちが巣立つまで、開催できると良いなぁ。（柳田）

☀自分が子どもの頃、母は敬うべき親であり偉大な存在だったのだが、子育ても終わった今は姉妹とか友人同士の様。そんな感じがちょっと嬉しいこの頃。（対馬）

編集後記

広報「ひまわり」を最後までお読みいただき、誠にありがとうございます。

今年度はコロナだけでなく、インフルエンザも大流行しましたが、皆さま元気にお過ごしですか？子ども達が心身ともに元気に、そして安心して過ごせる環境づくり、それは我々大人の役目だと思います。生活スタイルや友達との過ごし方も、私達が子どもの頃と比べると、どんどん変化している中、子ども達を理解し、そして寄り添えるように…私達も進化していかなければならないですね。いくつになっても日々勉強だなぁと、改めて感じた編集作業でした。

最後になりましたが、広報「ひまわり」発行にあたり、ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。（柳田）